

平成30年度千葉県高等学校ボルダリングツアー第2戦 実施細目

1. 会場 千葉県立幕張総合高等学校クライミングウォール
2. 期日 平成30年11月11日(日)
3. 主催 千葉県フリークライミング協会(CFA)
4. 参加費 一人あたり 500円(ルートセット費用等)
5. 日程 8:30~ 8:50 受付  
8:50~ 9:05 役員打合せ  
9:10~ 9:25 競技説明・諸連絡  
9:40~10:40 予選1組(60分間で6ボルダー・コンテスト形式)  
10:45~11:45 予選2組(60分間で6ボルダー・コンテスト形式)  
11:50~12:50 予選3組(60分間で6ボルダー・コンテスト形式)  
13:00~13:10 決勝アイソレーションクローズ(予定) 集計後オープン  
アイソレーションは多目的室1  
14:10~14:13 男女決勝オブザベーション  
14:30~15:30 決勝競技
6. 参加選手 男子100名 女子51名
7. 競技方法

<共通>

- ① スタートは、両手、両足ともに必ず指示された通りのポジションからスタートしなければならない(4点を明示している)。両手は必ずホールドを保持すること。
- ② スタートホールド以外のホールドを触ったり、主催者側が用意した以外のブラシでブラッシングしたり、ホールドにチョークを付けたりした場合にはアテンプト数に数える。
- ③ 原則として終了点のホールドの両手保持(両手を添える)で体を安定させ、審判の「OK!」の声によって「完登」とする。(自分の判断で降りた場合は完登とは認められない。)
- ④ 競技終了のブザーが鳴ったら競技続行はできない。(ブザービートなし)
- ⑤ 「ゾーン獲得」とは、そのホールドの片手での保持(両手の場合は指示がある)による。
- ⑥ 「完登」、「ゾーン獲得」の詳細はセッターの指示に基づく審判の判断による。
- ⑦ 成績は、完登数の降順、ゾーン獲得数の降順、完登に要したアテンプト数合計の昇順、ゾーン獲得に要したアテンプト数合計の昇順によりつける。
- ⑧ 他のホールドが壁についた状態で競技を行います。他のホールドを使用した際は注意をし、使用前の体勢に戻って競技再開としますが、戻れない場合や同じ箇所を再度使用した場合はアテンプト終了となります。

<予選> コンテスト方式、6ボルダー、60分間

- ① 選手は各エリアに順番に並び、各自でNoと氏名を記入した予選成績表を審判に渡し、登るボルダーを伝えてから登る。1回のアテンプト終了ごとに予選成績表を審判から受け取って確認し、成績に異議がある場合は必ずその場で審判に申し出ること。後からの抗議は無効となる。
- ② 各ボルダーあたりの最大アテンプト数は5回とする。

<決勝> IFSC 決勝方式、3ボルダー、各4分間

- ① 事前に各ボルダー2分間のオブザベーションを男女同時に全員で行う。

- ② 決勝の成績で同順位の場合は、予選カウントバックにより順位をつける。それでも同順位の場合、IFSC 競技規則 7.10.4 に基づき順位を確定する。タイブレークボルダーは実施しない。

8. 各学校への事前のお願い

キャンセル、選手変更等がある場合は、わかり次第至急連絡をお願いします。

- ・幕張総合高校 043-211-6311 三浦晃靖 (携帯090-4175-5017)

9. 役員分担

進行・統括	三浦(幕総)
受付・成績シート配布・ タイムキーパー	原(幕総)・大野(幕総)
成績集計	小平(商大付属)、三浦(幕総)
審判(予選)	高林(東海大浦安)、石田(千城台)・丸山(昭和学院)、多胡(市立船橋)、竹縄(松戸馬橋)、高橋(千葉北)・三浦(幕総)
審判(決勝)	高林(東海大浦安)、石田(千城台)・丸山(昭和学院)
ルートセッター	茂木 智大(千葉北OB)、西紘平(幕総OB)、島谷溪亮(商大付属OB)、 篠原 一馬(千城台OB)
予選個人成績シート回 収、決勝アイソ	高橋(千城台)・橋爪(松戸馬橋)